

コルリクワガタの産卵・孵化時期

足立義弘

1985年5月13日に扇ノ山小ヅッコ付近で採集したコルリクワガタ3♀♀を、ブナの朽ち木と共にタッパケースに入れておいたところ、朽ち木に多くの噛み傷がついていた。このため5月31日、この噛み傷の一つを開いてみると、1mmくらいの深さのところに、径1mmほどの卵が産み付けられていた。6月11日に再度調べてみると、先の卵の位置には何も見られなかったが、別の噛み傷から体長2mmほどの幼虫が現れた。その後朽ち木が乾燥してしまい、残念ながら経過を見ることはできなかった。

自然状態ではないが、コルリクワガタの産卵時期や、孵化の時期を知る参考になると思われるので報告しておく。

但馬産 *Strandella* 属 (サラゲモ科 *Linyphiidae*)

山本一幸

腹部に4つの黒斑を持つことで特徴的なヨツボシサラゲモ *Strandella quadrimaculata* には、近似する別種がいることが Saito(1982)によって明らかにされている。

筆者における今までの但馬産の本種の同定は、腹部の斑紋のみで決定しており、雌の生殖器や雄の触肢などの細部を観察するには至らなかった。昨年、手持ちの標本を再検討した結果、ヨツボシサラゲモは含まれず、近似する別種のヒメヨツボシサラゲモ *S. yaginumai* と、Korea より記載された *S. pargongensis* の2種が見い出された。